

でも一部を委託していくのか、今後も検討を重ね、個別の施設について、適否を判断していく予定である。

質問 家具転倒防止器具給付事業費が計上されているが、対象件数はどのくらいか

福祉部長 重度心身障害者と高齢者を合わせ、二十五件を計上している。利用状況により、給付件数が増えるようであれば補正予算で対応したい。

工夫と積極性が伺える。

歳出の面では、少子高齢化という社会の大きな流れに適切に対応するとともに、福祉・教育の充実、環境の保全、安心・安全対策に十分な配慮がなされ、コミュニティバスの運行の開始、生涯学習施設西棟の建設および開設、西口区画整理事業等の都市基盤の整備、産業の振興など、市民が真に必要としている施策の充実が図られている。

真に市民の負託に応えた内容であり、本予算に賛成する。

意見

一般会計

審議結果／可決

賛成

◎一般会計予算は、特定財源の確保に努め、経常的経費の節減を図り、長期総合計画のリーディング・プロジェクトを着実に予算化しており、財源に対する

◎行政改革、三位一体の改革等、地方へ権限や財源の移譲という変化の中、前期五カ年の基本計画仕上げの積極的な予算編成となっている。
生涯学習施設西棟、コミュニティバス運行など、無駄を省き、必要な個所への予算措置の英断は必要である。児童虐待防止対策、働く女性が安心して出産し、育児と仕事の両立ができる環境整備、ブックスタート事業、介護予防のための健康づくり、地球温暖化ガス削減への取り組み等、知恵を絞り工夫を凝らして編成されている。
さらに、社会状況を考え、今までの常識にとらわれない柔軟さ

が行政への信頼感を増す。施策の充実と市民サービスに期待する。
◎コストの削減に努めていること、西口エレベーターの設置、生涯学習施設西棟、市道一〇〇二号線、宮の下水田公園などに取組もうとしていることを評価する。
しかし、国や都の交付金や補助金を当てにした運営をそろそろ見直すべきではないかと考える。
こういったことが国の七百兆円、地方の三百兆〜四百兆円とも言われる借金を生み出し、その返済のために消費税の税率アップがささやかれるからである。
私たちは、身の丈に合った暮らしをする時期にきている点をコメントし、賛成する。

加や基金の取り崩しなど、懸念される点がいくつかある。教育についても、市の理念や方針は十分に理解できるが、市民要望や時代の要請から徐々にずれてきてきているような気がする。
しかし、委員会での各部署の詳細い説明で納得する部分も多く、賛成する。

反対

◎日本は少子高齢化により、二〇〇六年から人口減少が始まり、世界は地球温暖化防止へ向かって行く。このような時代変化に対応した予算編成にする必要がある。評価できる事業として、教育広報の発行、学習サポートの配置、児童虐待防止、エコキュート設置助成などがあげられるが、保育需要に応じて、待機児解消や保育料公平化補助など、努力すべきである。

◎市民は所得が減り続け、中小事業者も生活が厳しくなっており、市政は市民の暮らしを守ることに全力をあげるべきである。
ところが、羽村市は公共料金値上げを進めようとしており、一方では羽村駅西口に二億五千万円もつぎ込み、二億七千万円も新たな借金をしようとしている。
いま市がやるべきことは、子育て支援の強化であり、乳幼児医療費の無料化、保育料、幼稚園の負担軽減、さらに市民の健康を守るために、成人健康診査の拡大をすべきである。また、横田基地の軍民共用化についても、明確に反対すべきである。
情報公開を徹底し、市民の参加と協働のまちづくりを進めることを求める。

羽ヶ上土地区画整理事業会計

審議結果／可決

賛成

◎本事業は、平成十三年の換地

処分公告により、事実上事業が完了し、現在、清算金の事務処理を行っているところである。市は権利者の要望を受け、交付および徴収清算金に、それぞれ三分の一の補助を行った。これにより、交付については、平成十三年中に完了し、徴収についても現在九十%以上が納入済みとなっている。

そのため、前年度対比十八・二%減の本会計予算は、この徴収事務を執行するための必要経費であり、何ら反対する理由はない。よって本会計が適切に予算編成されていることを確認して、この予算原案に賛成する。

反対

◎換地清算金は、現在九十・九八%が徴収されており、今予算では、金額にして一千万円強、また分割利子として七万七千円が計上されている。

しかし、これら清算金は、関係市民が納得して払ったものではない。この区画整理事業に協力してきた市民は、突然の高額な清算金額にびっくりし、その説明を求めたり、分割利子の利率を低くするよう要望したが、納

得できないまま徴収事務が始まってしまった。市は、法に従って事務処理をしているには違いないが、地方自治体として住民の幸せのために仕事をしているのかという点について言えば、関係市民の市への信頼感は後退したと言える。

羽村駅西口
土地区画整理
事業会計

審議結果／可決

賛成

◎当該地区は、羽村の玄関口と言われてきたが、屈曲くつきよくした街道や農道に沿って家が建ち、権利関係にも複雑な面があり、基盤整備も遅れている。

住民は、事業に合わせて建て替えや改築を予定しているが、最近、各地で発生する地震に不安を募らせ、早期に安全な家を建

てたいと願っている。
さらに商店街の衰退による不

便さも加わり、このまま放置しておくことはできない。多くの人々が望んでいる駅西口昇降機設置関係も、実施設計に入ろうとしている。

反対

◎①関係住民の多くが反対をしている事業に、平成十七年度は、市債も含め五億円の予算が計上されている。五億円は生活に密着した施策に使われるべきである。
◎②関係住民の中で反対者が多い。市は西口のまちづくりについては、参画と協働の考えのもとで行うべきである。
◎③審議会は、ルールづくりについて議論している。平成十八年三月までに仮換地案の作成・縦覧を予定しているが、市は予定を先行させる考えではなく、審議会委員が、充分納得できる時間の保障をすべきである。

◎平成十七年度は、一般会計から二億四千九百六万円を繰り出

し、新たに、二億七千万円の借金を借り入れるが、西口区画整理事業は、関係住民の反対が強く、理解は得られていない。今後二十年にわたって、毎年一般会計からの繰り入れと借金を続けていくこの事業は、少子高齢が加速し、生産人口が減少するこれからの時代に逆行するものであり、大量の産業廃棄物を生み出すことになる。事業の規模・手法・予算など見直すべきで、このまま強行していくことは大変危険であり、反対である。

◎今の羽村市の財政規模で、当初計画のまま西口区画整理を進めることには、問題があると考ええる。規模については、見直す必要があると考えている。
範囲や規模が明確でない区画整理の土地購入や、委託のあり方に疑問も多く反対である。



議会改革

議会改革検討委員会では、昨年 2 月から 1 年間をかけ、①議会の構造および制度改革のために、②議会の活性化と市民に分かりやすい議会運営のために、③議会活動改善のために の 3 つを改革の柱に据え、さまざまな事項について調査・検討を重ね、議長に中間報告（昨年 8 月）ならびに最終報告（昨年 12 月）を提出しています。

このことを受け、一般質問における一問一答方式の導入、議会ホームページの充実など、改革事項については、できるところから取り組みを進めています。

そして、平成 17 年第 1 回羽村市議会（定例会）において、議員定数の改正、常任委員会の委員数の改正、政務調査費の交付方法の改正を行うための条例改正を行いました。

なお、議会改革の概要は、議会ホームページでもご覧いただけます。

◆議員定数を 20 人から 18 人に

議会改革検討委員会の最終報告で、議員定数については、「削減すべき」とする意見と「削減すべきでない」とする意見の両論が併記されましたが、今議会において、定数削減に賛成する議員から、「昨今の社会経済情勢に即し、議会の効率化と活性化を図るため」との理由で、現行の議員定数 20 人を 18 人とする条例改正案が提出され、賛成多数で可決されました。

改正後の議員定数条例は、次回の一般選挙により当選した議員の任期から適用されます。

◆各常任委員会の委員数を変更

議員定数の条例改正案と同時に、「羽村市議会委員会条例の一部を改正する条例」が提出・可決され、各常任委員会の委員数は次のようになりました。

- ・総務委員会委員 6 人（改正前 7 人）
- ・経済委員会委員 6 人（改正前 7 人）
- ・厚生委員会委員 6 人（改正なし）

改正後の委員会条例は、次回の一般選挙により当選した議員の任期から適用されます。

◆政務調査費の交付方法を改正

改正点の概要は次のとおりです。

- ・収支報告書に、「領収書等証拠書類」添付の義務付け
今まで、「整理・保存する」とされていた領収書等の証拠書類を、「収支報告書に添付する」ことになりました。
- ・収支報告書、証拠書類の保存期間を改正
収支報告書、会計帳簿等の保存期限を 3 年から 5 年に改めました。
- ・交付方法等の見直し
会派所属議員が、年度途中で増減した場合の、支給方法等を見直しました。

陳情

審査対象になった陳情は、各常任委員会に付託して慎重に審査されます。

表の○×は、本会議における各会派の陳情に対する賛成・反対を示しています。

件名	付託先	委員会の 審査結果	本会議の 結果	会派名						
				新	公	共	ネ	21	民	自
家庭福祉員（保育ママ）の保育料補助に関する陳情書	厚生	趣旨採択	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
乳幼児医療費助成制度の所得制限撤廃を求める陳情書	厚生	趣旨採択	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
乳幼児（就学前）の医療費無料化に関する陳情書	厚生	趣旨採択	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○

※会派名 新一新公会、公一公明党、共一日本共産党、ネー市民ネットワーク「いきいき広場」、21ー羽村 21、民一民主党、自一自民クラブ

東京都市議会議長会および関東市議会議長会から表彰

去る 2 月 16 日に東京都市議会議長会から、雨宮良彦議員が、また、4 月 21 日には関東市議会議長会から、雨宮良彦議員、菱田櫛樹議員、並木正志議員が、それぞれ永年勤続議員として表彰されました。



雨宮良彦議員
(在職 15 年以上対象)



菱田櫛樹議員
(在職 10 年以上対象)



並木正志議員
(在職 10 年以上対象)

あなたも傍聴してみませんか？ 次回の定例会は 6 月です。

定例会の初日は 6 月 2 日（木）の予定です。

なお、請願・陳情の提出は、

5 月 23 日（月）までに議会事務局へお願いいたします。

編集後記

◇次年度の予算議会ともいわれる三月定例議会が終わりました。三位一体改革の中で、比較的大型事業の多いのが平成十七年度予算の特徴で、活発な議論がなされました。

◇時あたかも桜の季節で、市内小中学校の児童・生徒のみなさんも卒業・進級・入学と、新たな思いで新年度を出発しようとしています。◇私どもも新年度が実りの多いものになるように、新たな気持ちで出発します。もつともこの市議会だよりが市民のみなさまに届く頃は初夏の候とは思いますが…。

(菱田記)

《編集委員》

桑原 寿 門間 淑子
中根 康雄 菱田 櫛樹
市川 英子